

〔国際会議開催〕

申請者	九州大学 システム情報科学府 教授 櫻井 幸一	2215004
国際会議名称	The 17th ACM Asia Conference on Computer and Communications Security	
開催期間	2022年5月30日～6月2日	
開催場所	出島メッセ長崎	
申請者の役割	実行委員長	

概要：

ACM AsiaCCS は、今年で 17 回目を迎える。過去の会議は、2019 年までは完全対面、2020 と 2021 年は完全 online での開催であり、今回の 2022 年長崎は、初めての対面と online の混合形態であった。日本開催は東京（2006）、京都（2014）に続いて、今回の長崎で 3 度目となる。本会議は、米国 ACM CCS のアジア地区版会議としての発足であったが、今や、欧米からも積極的な論文投稿もあって、世界規模の主要なサイバーセキュリティの学術会議の 1 つにまで成長している。2022 年本会議では 463 件の論文投稿があった。これは過去最高の投稿件数であり、専門家の査読を経て、18% 程度が発表論文として採択された。

参加者数は対面参加 92 名（うち海外 50 名）、オンライン参加 184 名（うち海外 164 名）の計 276 名であり、日本を含む 29 か国の研究者が参加した。発表者との質問ツールとして Slack を使用したが、書き込まれたコメントの件数は 2 千件を超えていた。

本会議では仮想通貨・携帯通信・プライバシー保護の各分野から 3 件の基調講演が行われた。また前日に行われたワークショップでは、深層偽造（deep-fake）など 6 つの社会的に重要な話題（内 3 つは今回が初開催）について広く深い議論を行った。結果として、サイバーセキュリティを取り巻く幅広い問題を提起し、参加者の研究の更なる活性化の促進に貢献できたと評価している。

本会議の準備や広報に関しては、情報処理学会や電子情報通信学会の 5 つのセキュリティ研究会の共催を得て、会議初日には、長崎国際テレビより取材を受け、2022 年 5 月 31 日の昼のニュースで取り上げられた。